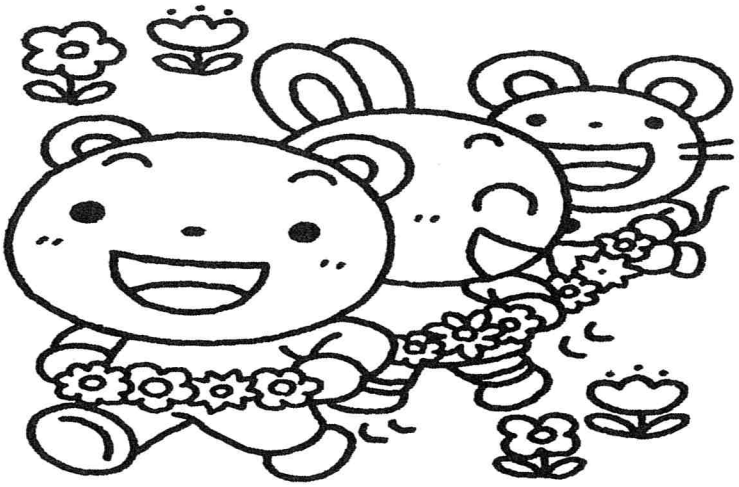
保存版

令和８年度

保育園のしおり



大切な書類です。卒園まで保管してください。

懇談会参加の際は、持参してください。

社会福祉法人　山久会

保育園東林間ジュニアクラブ

～児　童　憲　章　(抜粋)～

児童は、人として尊ばれる。
児童は、社会の一員として重んぜられる。
児童は、よい環境のなかで育てられる。

1　すべての児童は、心身ともに健やかにうまれ、育てられ、その生活を保障される。
2　すべての児童は、家庭で、正しい愛情と知識と技術をもって育てられ、家庭に恵まれない児童には、これにかわる環境が与えられる。

～　も　く　じ　～

☆保育理念		1ページ
☆保育方針		1
☆保育目標		2
☆保育内容		2
☆入園に際して	1．保育時間	3
	2．休園日	3
	3．食事	4
	4．災害対策	4
	5．災害共済給付制度	4
	6．入園の準備	4
	7．健康管理	5
	8．家庭での習慣	6
	9．利用者負担額の納入について	6
	10．その他	6
☆保育園における子どもの生活		7～8
☆入園までに用意するもの		9～12

＊本しおりは、お子さんが卒園するまでご使用いただくものとなります。
内容に変更が生じた際は、差し替える場合があります。

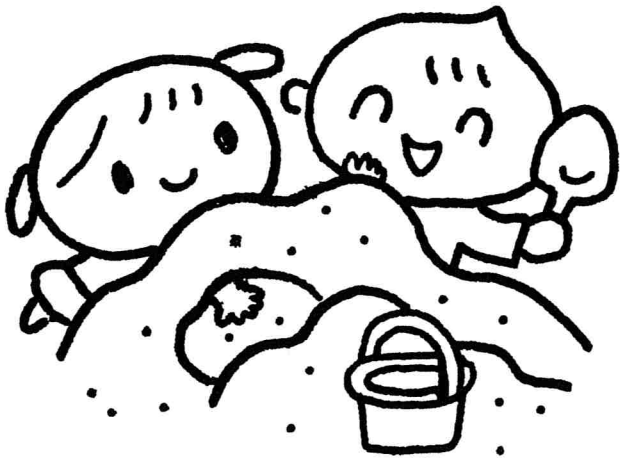
～ 保 育 理 念 ～

「笑顔で健康」を目標とし、家庭で養育できない乳幼児を家庭や地域社会(高齢者施設など)との連携を密に、よい環境の中で、養護と教育が一体となって、豊かな人間性を持った子どもを育成する。

～ 保 育 方 針 ～

・楽しい遊びと運動を通して、しなやかでたくましい心と体をつくる。

・行事を通して、さまざまな人々と交流をし、社会性を育む。



～ 保 育 目 標 ～

「元気な子ども」　よく遊び、よく食べ、よく眠ることを大切に、基本的な生活習慣を身につける。

「考える子ども」　いろいろな生活体験を通して、見たり、感じたりしたことを表現し、感性と創造力を培う。自発的に行動し、自分自身を認められるようにする。

「思いやりのある子ども」　人との関わりの中から、相手の気持ちを理解し、お互い協調し合い助け合う心を育てる。

～ 保 育 内 容 ～

年齢 区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
組　名	いちご		も　も	みかん	ばなな	めろん
領　域	生活・あそび		健康・人間関係・環境・言葉・表現			

～ 入 園 に 際 し て ～

保育園は保護者の方が就労している、病気あるいは介護などの理由により、乳幼児期のお子さんを家庭で保育できない場合に、保護者の方に代わってそのお子さんをお預かりし、家庭保育の補充をするところです。

社会が物質的な豊かさを求める時代から、余暇の拡大を通じて、心の豊かさを考える時代へと変化しつつある中で、今後ますます親と子のあたたかいふれあいが、子育ての中で重要な役割を担ってまいります。

保育園ではお預かりしたお子さんを、家庭的な環境で健やかに育むことができるよう努力してまいりますが、ご家庭でも子育てに関わる時間を大切にしてくださるようお願いします。

１．保育時間

お子さんを保育する時間については保育の必要量により、２種類に認定されています。

保育標準時間　保育園の通常の開所時間の範囲で、原則８時間～最大１１時間(延長保育を除く)の利用が可能。

保育短時間　保育園の定める保育短時間の範囲で、最大８時間の利用が可能。(超えた部分の利用は延長保育扱い)

≪基本的な例≫　7:00～18:00 を通常開所時間とする施設

7:00　8:30　16:30　18:00

<table>
<tr><td>保育標準時間</td><td colspan="3">原則８時間～最大１１時間</td><td rowspan="2">延長保育
(有料)</td></tr>
<tr><td>保育短時間</td><td>延長保育
(有料)</td><td>保育園の定める８時間</td><td>延長保育
(有料)</td></tr>
</table>

保育時間は就労時間＋通勤時間となります。

保護者の就労時間等の関係で、延長保育を希望される方は、お申し出ください。

お子さんが、集団生活に慣れるのに時間がかかる場合などは、保護者の方と相談しながら保育を進めてまいります。

２．休園日

休園日は、日曜日・国民の祝日(振替休日を含む)・年末年始(12/29～1/3)です。なお、感染症の発生、災害等により保育することが困難な場合も休園になることがあります。

３．食事

食事は、年齢によって次のようになります。

０・１・２歳児…主食と副食、おやつ(午前と午後)

３・４・５歳児…主食と副食、おやつ(午後)

３歳以上児は主食費、食材料の副食費を別途申し受けます。

毎月給食献立(予定)表を配布します。

お子さんの発達に合わせた離乳食を提供します。

母乳を飲んでいるお子さんは、哺乳瓶に慣れておきましょう。

４．災害対策

保育園では、毎月１回以上の災害避難訓練を行います。なお、震度５弱以上の地震(警戒宣言が発令された場合を含む)、台風等による災害が発生した場合は、できる限り早くお迎えに来てください。震度５強の時は閉園となります。

当園の一時避難場所は、園庭⇒テニスコート⇒くぬぎ台小学校、広域避難場所は上鶴間小学校・中学校となっています。

災害時や緊急時は保育アプリ「コドモン」で情報を提供しますのでご確認をお願いします。

５．災害共済給付制度

保育園では、園児の安全には日頃から十分気をつけていますが、万一の事故に備えて、全員独立行政法人日本スポーツ振興センターと災害共済給付の契約を結んでいます。保育園で保育を受けている時や通常の経路での登降園途中の怪我等で、事故が発生した場合には、独立行政法人日本スポーツ振興センター法で定められた給付金が支給される場合もあります。受診する医療機関によっては、文書料が必要になる場合があります。

事故及び怪我が起きた場合、保護者に通院の協力をいただくことがありますので、ご了承ください。

６．入園の準備

家庭調査票及び登降園調査票その他の書類については、必要事項を詳しく記入してください。

入園までに用意するものについては、９～１２ページにクラス(年齢)別に記載されていますので、ご参照ください。

７．健康管理

保育園では、乳幼児健診(年２回)、歯科健診(年２回)、尿検査、身体計測などを行います。

アレルギー体質等のお子さんは必ず申し出てください。

食物アレルギーで食物除去等が必要な場合には、医師の診断による「生活管理指導表」に基づいて行います。

乳幼児健康診査、予防接種は各家庭で受け、結果や接種した内容をお知らせください。

薬は原則としてお預かりできません。医療機関を受診される際には、保育園に通園していることを主治医に伝え、家庭での服薬で対応できるようにご相談ください。なお、アレルギー性疾患や中耳炎等、慢性の経過をたどるもので、保育時間内の服用が必要とされ、やむを得ず保護者が与えることが出来ない場合は、お申し出ください。

病気の時はお子さんの健康を考慮し、できるだけ休ませてください。とくに感染症にかかった時は、医師の許可があるまで登園を控えてください。乳幼児のかかりやすい病気は、下記の通りです。１～１１までの疾病については、登園する時に医師の登校・登園許可等証明書が必要です。(用紙は市内の病院と保育園にあります。)表のア～クは、登校・登園許可等証明書は不要ですが、受診し医師の診断を受けてください。

		病　　名	主　な　症　状
登校・登園許可等証明書必要	１	百日咳	熱がなく特有の咳(夜間に多い)
	２	麻疹(はしか)	発熱・くしゃみ・結膜炎・発疹
	３	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	発熱・耳の下が腫れる
	４	風疹(三日ばしか)	軽い風邪症状・発熱とともに発疹
	５	水痘(水ぼうそう)	発熱とともに水泡のある発疹
	６	咽頭結膜熱(プール熱)	発熱・のどの痛み・結膜の充血・目やに
	７	溶連菌感染症	高熱・咽頭通・発疹・いちご舌
	８	流行性角結膜炎	結膜の充血・眼瞼の腫れ・目やに
	９	急性出血性結膜炎(アポロ病)	結膜の充血・眼瞼の腫れ・目やに
	１０	伝染性膿痂疹(とびひ)	あせも等に化膿菌が入って水泡ができ次々に広がる
	１１	中耳炎	耳だれ耳を痛がり触り、聞こえが悪い
登校・登園許可等証明書不要	ア	流行性紅斑(りんご病)	軽度の発熱・顔面の紅斑
	イ	インフルエンザ	発熱・咳・のどの痛み・ふしぶしの痛み
	ウ	感染性胃腸炎	下痢の回数が多く水のような便、風邪のような症状をともなう
	エ	急性角膜炎(８・９を除くもの)	目の充血及び痛み
	オ	手足口病	手のひら、足の裏、口の中に米粒大の水泡
	カ	ヘルパンギーナ	発熱・のどの痛み・のどの奥に水泡や潰瘍
	キ	ＲＳウイルス	発熱・鼻汁・特有の咳・呼吸困難
	ク	マイコプラズマ肺炎	発熱・徐々に激しくなる咳・頭痛
	ケ	新型コロナウイルス感染症	発熱・咳・頭痛・のどの痛み

8．家庭での習慣

基本的な生活習慣(食事・睡眠・衛生・着脱・排泄)を身につけるようにしましょう。
朝食は、必ず食べさせてください。
洗顔、歯磨き、手足の清潔、爪切りを習慣づけてください。
排便は、毎朝済ませるよう習慣づけましょう。
登降園の際は交通安全に心がけ、順路も決めておきましょう。

9．利用者負担額の納入について

利用者負担額は、職員の人件費や施設の維持管理費等、保育園を運営する経費として保護者の皆様にご負担いただくもので、その額はお子さんの年齢や世帯の所得等に応じて定められています。

納付については、原則として口座振替(保護者の預貯金口座からの振替)によりお願いします。口座振替の手続き用紙は利用決定時に送付しますが、市内各金融機関(または市役所保育課)にもおいてありますのでご利用ください。

園では、園長が利用者負担額の納付受付を行うとともに、利用者負担額未納者に対する未納通知の配布及び納付督励を行っています。園児の健全な育成と保育園の円滑な運営のため、利用者負担額は必ず指定納付期限内に納付してください。

利用者負担額の納付については、市役所保育課(直通 042-769-8340)へお問い合わせください。

10. その他

保護者の方の住所、電話番号、保育実施理由、勤務先、出産予定・産休育児休暇等変更があった時は、速やかに“子どものための教育・保育給付支給認定変更申請書兼変更事項届出書”を保育園に提出してください。(用紙は保育園にあります)

市外へ転出する予定がある場合は、南子育て支援センター(TEL042-701-7723)へも連絡をしてください。そのまま保育園に通う場合でも、手続きが必要です。

無断欠席が１カ月以上になった場合は、退園の処置を取ることがあります。

退園される方は、辞めたい日の１０日前までに“退所届”を提出してください。手続きが遅れますと、実際は登園していなくても保育料を納めていただくことがありますので、期限厳守でお願いします。

園児を自動車で送迎する場合は、チャイルドシートを着用してください。

駐車場ではアイドリングストップにご協力ください。送迎時の車上荒らし等には十分ご注意ください。

保育園でお預かりする個人情報については、適切に管理使用します。

(小学校への円滑な移行・接続が図れるよう入学する予定の小学校との間で情報を共有、緊急時において病院に対し必要な情報を提供等)

育児についてのお悩みは気軽に事務室や担任にご相談ください。また、苦情・要望等がある場合は、いつでも直接お申し出ください。

ご意見・ご要望等の受付担当者
主任　高橋　なつみ
ご意見・ご要望等の相談解決責任者
園長　阿部　琢磨

～保育園における子どもの生活(０歳児)～

<table>
<tr><th></th><th>６ヶ月以下児</th><th>６～12ヶ月児</th><th>12ヶ月児以上
完了食から</th></tr>
<tr><td>７：００</td><td colspan="3">受け入れ
順次登園</td></tr>
<tr><td>８：００</td><td colspan="3">視診</td></tr>
<tr><td>９：００</td><td>睡眠</td><td>睡眠</td><td>おやつ</td></tr>
<tr><td>１０：００</td><td></td><td>外気浴・あそび</td><td>外気浴・あそび</td></tr>
<tr><td>１１：００</td><td>ミルク</td><td>離乳食＋ミルク</td><td>給食</td></tr>
<tr><td>１２：００</td><td>午睡</td><td>午睡</td><td>午睡</td></tr>
<tr><td>１３：００</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>１４：００</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>１５：００</td><td>ミルク</td><td>ミルク</td><td>おやつ</td></tr>
<tr><td>１６：００</td><td>視診</td><td>降園準備</td><td>順次降園</td></tr>
<tr><td>１７：００</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>１８：００</td><td colspan="3">延長保育
軽食</td></tr>
<tr><td>１９：００</td><td colspan="3">保育終了</td></tr>
</table>

～保育園における子どもの生活～

<table>
<tr><th></th><th>１・２歳児</th><th>３歳児以上</th></tr>
<tr><td>７：００

８：００</td><td colspan="2">受け入れ
順次登園
視診</td></tr>
<tr><td>９：００

１０：００

１１：００

１２：００

１３：００

１４：００

１５：００

１６：００

１７：００

１８：００</td><td>おやつ
課題による活動・あそび

給食

午睡準備　午睡

おやつ

視診・降園準備・順次降園</td><td>戸外自由あそび

課題による活動
あそび

給食

午睡準備　午睡

おやつ

視診・降園準備・順次降園</td></tr>
<tr><td>１９：００</td><td colspan="2">延長保育
軽食
保育終了</td></tr>
</table>

入園までに用意していただく物

用意していただく物が表になっていますので、お子さんのクラスの欄をご覧いただき、詳細・見本は次ページに写真付きで載っていますので合わせてご確認ください。

	いちご組 ０歳児	いちご組 １歳児	もも組 ２歳児	みかん組 ３歳児	ばなな組 ４歳児	めろん組 ５歳児
着替え用衣服 上下・下着・靴下	●	●	●	●	●	●
園庭用運動靴	●	●	●	●	●	●
園庭用上着（冬季）	●	●	●	●	●	●
布団一式	●	●	●	●	●	●
上履き				●	●	●
通園バッグ			●	●	●	●
汚れ物入れ用エコバッグ	●	●	●	●	●	●
手拭きタオル（１日１枚）	●	●	●	●	●	
ポケットタオル１枚 ※移動ポケットに入れておくのも可						●
食事用エプロン	●	●				
箸・スプーン・フォークの ３点セット				●	●	●
３点セット入れ				●	●	●
コップ			●	●	●	●
コップ入れ			●	●	●	●

※カラー帽子につきましては、防災頭巾を兼ねたカラー帽子を園で申し込んで購入します。

・毎日ロッカー内の衣類などの整理整頓、補充をお願いします。

・すべての持ち物に、はっきりと名前を書いてください。また、消えかかっていたら書き直してください。

・布団は月に一度布団乾燥の日があります。（後日、日程表を配布します）

・シーツカバー（上下）、園庭用運動靴、上履き、カラー帽子は毎週洗濯をお願いします。

カラー帽子は衣類乾燥機にはかけないでください。

・夏季は、泥遊び、プール遊びを行います。準備については、お知らせを配信いたします。

着替え用衣類

身体を動かしやすく、伸び縮みしやすい、自分で着脱しやすいもの。

・スカート、ワンピースなど裾が広がっているものは、遊びの妨げになるのでご遠慮ください。

・スパンコールやビーズなど肌に触れて傷がつきそうな衣服もご遠慮ください。

・子どもは汗をかきやすいため、冬場も裏起毛の衣服は避けてください。

・肌着も毎日着替えます。冬場でも半袖の肌着をご用意ください。

上着

・フードがないもの

・袖があるもの

・つなぎではないもの

ズボン

・フリルや段の飾りがないもの　・厚手のデニムは着脱しにくいので避けてください

髪の毛を結ぶゴムについて

飾りのないもの。

※ヘアピンやカチューシャはしてこないでください。

園庭用運動靴

足の大きさにあったもの。底に凸凹があるもの。

マジックテープで止めるものは、脱ぎ履きや足の大きさとの調節がしやすいです。

※登園する時も、園庭用運動靴で来てください。

夏場でもサンダルやクロックスでの登園はご遠慮ください。

通園リュック

開閉がしやすく、しっかりとしたもの。
大きすぎないもの。（7L 程度）

※キーホルダー等は、お友だち間のトラブルの原因や、紛失の恐れがありますのでご遠慮ください。

園庭用上着

冬季に使用します。
風を通しにくく薄手で動きやすいもの。
フードがないもの。

※フックにかけますので、フープがついていないものは付けるようにしてください。

手拭きタオル

つり紐付き

３０㎝程度

乳児食事用エプロン

ビニール製のもの。袖なし

※名前は表に大きく書いてください。

３点セット、３点セット入れ

コップ、コップ入れ

<u>コップ</u>

取っ手が持ちやすいもの。
液体が入っていないもの。
底部分に滑り止めがついていないもの。

<u>コップ入れ</u>

コップとタオルが入る大きさ。

※コップの側面と底の２か所に名前を記入するようにしてください。

エコバッグ

汚れた衣服を入れます。

４５㎝程度

食育用エプロン

<u>エプロン</u>

腰を紐で結ぶタイプの物

<u>三角巾</u>

ゴムが入っている等、すっぽりと被り、髪の毛が覆えるもの

布団一式

枕は不要で、掛布団と敷布団のみ。

※布団乾燥時にはシーツを剥がして業者に渡しますので、シーツだけでなく<u>布団本体にも大きく名前を書いてください。</u>

遠足の日セット

年に数回遠足に行きます。安全に活動するため、動きやすい服装か、靴が適しているか確認をお願いいたします。子どもたちがどこに何がはいっているか分かるよう一緒に準備しましょう。

リュックサック

全ての荷物が入り、お子さんの体に合った大きさのもの。

前で止められると歩く時に肩から滑り落ちることなく背負えます。

敷物

子ども一人が座れるくらいの大きさのも

お弁当

お子さんの好きな物を食べられる分だけ入れてください。

食具はフォーク一本で十分です。

水筒

お子さんの飲み切れる量を相談して入れてください。

おしぼり

お　願　い　事　項　①

保育園東林間ジュニアクラブ

子どもたちが毎日心地よく楽しく過ごせるよう、
保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

♪園生活♪

- 衣服や持ち物には全て記名をしてください。ジャンパーなどはフックにかけられるように、必ずループをつけてください。
- 服装は動きやすく排泄しやすいものに、靴も足に合ったものにしましょう。チュール付きのスカートやフードつきの洋服や、サンダルは怪我をしやすいのでやめましょう。
- 衣類は一式２組以上いつも入っているようにしましょう。
  保育園のパンツ(下着)を借りた場合は、新品でお返しください。
- 手拭きタオルは毎日取り換えましょう。
- 布団カバー、上履きは週末に持ち帰り、洗って月曜日にお持ちください。
- コドモンからのお知らせや保育室入口の貼り紙等には必ず目を通しましょう。

♪健康管理♪

- 朝食は必ず食べて登園しましょう。
- 早寝早起きの習慣をつけましょう。
- 爪はこまめに切りましょう。
- 予防接種後の登園はお控えください。
- 病気の時は早めの手当てと休養を心がけましょう。
- 保育園で３７，５℃以上発熱した時は、連絡を入れさせていただきます。
  お子さんの状態によっては速やかなお迎えをお願いします。
- ３８，０℃以上発熱した場合は、お迎えに来ていただきます。
- 感染の恐れのある症状(下痢・嘔吐・発疹等)の場合は、感染拡大防止の為、登園を控えていただきご家庭で様子をみていただくことをお願いする場合があります。
- 熱がなくても、“顔色が悪い”“元気がない”“食欲がない”等の時は心配です。
  登園されるか、休養や受診等お子さんの様子をみて検討ください。

♪登降園は笑顔で…♪

- 早朝保育(7:00～8:30)は原則、乳児はもも組、幼児は幼児保育室で行います。
  必ず早朝保育の保育室に連れて行き、保育士に声をかけるようにしましょう。
- 延長(18:00～19:00)保育は乳幼児合同で、乳児保育室で行います。
- 通用門は、必ず親子一緒に出入りし、門扉を開けるボタンは保護者の方が操作をして下さい。
- 送迎者が変わる場合や出張等で連絡先が変更になる場合は、必ず連絡をお願いします。
- 遅くても９：００頃までに登園しましょう。登園が遅くなる場合やお休みをする時は、前日ないし当日８：３０頃までにコドモンの「保護者からの連絡」で必ず連絡をお願いします。
  ８：３０以降は電話での連絡をお願いいたします。
- お迎えの予定時刻よりも３０分以上遅くなる場合は、わかった時点で電話での連絡をお願いいたします。※電車の車内など電話連絡が難しい場合はコドモンの「保護者からの連絡」で必ず連絡をお願いします。

お　願　い　事　項　②

＊かみつきや怪我等の対応について

・かみつきは、①場所の取り合い　②おもちゃを取られたくない　③お友だちと関わりたい
④体調が悪くイライラするなどの理由から、まだまだ自分の思っていること、考えている
ことをうまく言葉にすることができないために現れる行為です。
子どもの成長の一過性を考えて、あった場合には双方の保護者にありのままに説明します。
保育者は痛いことややめてほしいことを教えるなど、そのお子さんに合った対応で連続性を
持って行い、子ども自身から変わっていく時を待つ姿勢が大事と考えています。

・怪我についても、幼児クラスになりますと、怪我の様子をお子さん自身が自分で伝えられる
ようになったり、他のお子さんから伝えられたり、自分の都合のいいように話したり…。
卒園まで同じクラスで過ごすことも考慮し、いろいろ誤解を招く恐れがあることを考えて、
双方の保護者に怪我に至った様子を必要な限り、真摯にお伝えしていくことにいたします。
園での怪我は、怪我をさせた方が必ずしも一方的に悪い訳ではない場合も多々あり、喧嘩に
してもその喧嘩の原因は怪我をさせられた方にあることもありますので、園でのお子さんの
様子は良いことも悪いこともお伝えしていきたいと思います。

・子どもは集団生活において、物の取り合いや喧嘩をすることから譲り合いのやさしさを持つ
力や自分を変える力、友だちとの関わり方、「ありがとう」「ごめんね」の心を学び取ります。
一つひとつの実体験を自分の中に吸収して成長していくものと思います。
喧嘩や怪我は今まさに健全に学び生きている証拠と捉え、“頑張れ！”と応援し温かく見守って
いただいて、お子さんから話を聞いてあげる時間をたくさん作っていただけたら…と思います。
もちろん「保育園で起きた出来事は、保育園の責任」という考えから、保育士がしっかりサポ
ートして防ぐよう、安全面にも配慮していきたいと思います。
ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

＊ご兄弟(乳児・幼児)のいるご家庭の登降園時の受け入れ、受け渡しについて

・朝　は…下のお子さんを先に預けてから、上のお子さんの準備をお子さんと一緒に行
ってから預けてください。

・夕方は…上のお子さんと一緒にお帰りの支度をしてから、下のお子さんのお迎えをお願
いいたします。
その際、上のお子さんは下のお子さんの保育室には入らず、保護者の眼の届く位置でスノ
コに座って待っているように声をおかけください。なお、下のお子さんをおんぶひもや、
抱っこひもで固定(一体化)されている場合は逆でも構いません。また、小中学生の
兄姉も保育室内に入ることはできませんのでご承知おきください。

・お迎えに来て引き渡しが済みましたら園庭で遊ぶことなく、速やかにお帰りください。
門を出てから保護者の方同士で立ち話等している間に、お子さんが急に道路に飛び出し
たりしますと大変危険です。

ご意見ご要望等がありましたら、いつでも直接お申し出ください。
保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。